

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

上板町立東光小学校（徳島県）【指定校】

## 【取組内容②】 クラウド上での共同編集によるスライド作成－情報活用能力の育成－

## 4年生：総合的な学習の時間「伝えよう！藍のステキ！！」

本校の4年生は、体験や見学を通して、地域の伝統である「藍」について学習している。学習してきたことを、3年生や他校に発信するために、グループに分かれてスライドを作成した。

ねらい

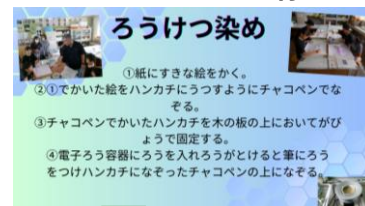
- ・ 体験や見学から得た学びを学習支援ソフトに記録することで、児童が自ら学習記録を整理できるようにする。
- ・ クラウド上での共同編集を通じて、一人一人およびグループの作業の進め方を教師や児童同士が把握しやすくする。
- ・ 聞き手に分かりやすく伝えるポイントを意識させ、情報発信の際に大切なことに気付かせる。

学習支援ソフトの記録から、  
情報を得てスライドを作成する。

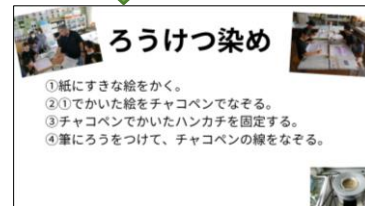
僕は藍建てをして心にのこったことが2つあります。1つ目は、さんが藍建ての仕方を教えてくれたことと、材料の名前を教えてくださいました。材料の名前はすくも・ふすま・石灰・灰汁です。すくもは灰みたいなおいがして、黒色でした。ふすまは、お湯とまぜると小麦みたいになりました。さんが材料をいれる順番などを教えてくださいました。すくもを15kg入れ、ふすまを150g入れて石灰を200g入れました。藍建てをするときに、「横にまぜずに、たてにまぜた方が良いです。横でまぜると、すくもが下にしずんでしまうよ。」と教えてくださいました。コツをわすれずにしたいです。

## 藍建ての仕方

- ・ まず、大きなバケツに水をいれます。
- ・ 次に、すくも15kg、ふすま150g、灰汁、石灰200gを入れます。
- ・ 次に、水をいれて、まぜていきます。

グラフィックデザインツールを用いて、  
同じグループの児童と共同編集する。ポイントをおさえて作成し直した  
スライドをクラスで共有する。

修正後



考察

- ・ スライド作成を通して、自分たちの学びを整理して、分かりやすく発信する力を育成することができた。
- ・ 共同編集をすることで、分担箇所の進捗を確認し、必要に応じてサポートしたり、他のグループを参考にしながら作業を進めたりすることができた。
- ・ 分かりやすくまとめることよりも、デザイン性の高いスライドを作ろうとする児童が多かったため、デザイン性の高さと分かりやすさの違いについて、気付かせることが必要だと考える。